

運用報告書（全体版）

第8期

決算日 2019年1月15日

米国リート厳選ファンド （資産成長型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国リート厳選ファンド（資産成長型）」は、去る2019年1月15日に第8期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

大和住銀投信投資顧問株式会社は、関係当局の認可等を得ることを前提に、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友D Sアセットマネジメント株式会社となる予定です。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／不動産投信 |
| 設定日 | 2015年1月13日 |
| 信託期間 | 2015年1月13日～2025年1月14日（約10年） |
| 運用方針 | 主として円建て外国投資証券への投資を通じて、主に米国の不動産投資信託（リート）等に実質的に投資することで、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 |
| 主要運用対象 | 米国リート厳選ファンド（資産成長型） ・ Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Qを主要投資対象とします。なお、マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Q ・ 主として米国のリートおよび不動産等関連証券を主要投資対象とします。 マネー・マネジメント・マザーファンド ・ 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | ・ 投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・ 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 配分方針 | 毎年1月、7月の12日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 * 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。 |

ホームページアドレス

<https://www.daiwasbi.co.jp/>

お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。



米国リート厳選ファンド（資産成長型）

最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | MSCI US REITインデックス (配当込み、円換算) (参考指数) | | 公社債 組入比率 | 投資信託 証券 組入比率 | 純資産額 |
|------------------|-------|-----------|-----------|--|-----------|-------------|--------------------|-------|
| | (分配落) | 税込 分配金 | 期中 騰落率 | (参考指数) | 期中 騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 第4期 (2017年1月12日) | 9,204 | 0 | 10.6 | 10,251 | 5.1 | 0.0 | 97.8 | 1,996 |
| 第5期 (2017年7月12日) | 8,765 | 0 | △ 4.8 | 10,149 | △ 1.0 | 0.0 | 97.7 | 1,610 |
| 第6期 (2018年1月12日) | 8,317 | 0 | △ 5.1 | 9,953 | △ 1.9 | 0.0 | 96.9 | 1,201 |
| 第7期 (2018年7月12日) | 8,800 | 0 | 5.8 | 10,739 | 7.9 | 0.0 | 97.5 | 842 |
| 第8期 (2019年1月15日) | 8,013 | 0 | △ 8.9 | 10,066 | △ 6.3 | 0.0 | 97.0 | 694 |

MSCI US REITインデックス（配当込み、円換算）とは、MSCI US REITインデックス（配当込み、米ドルベース）を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

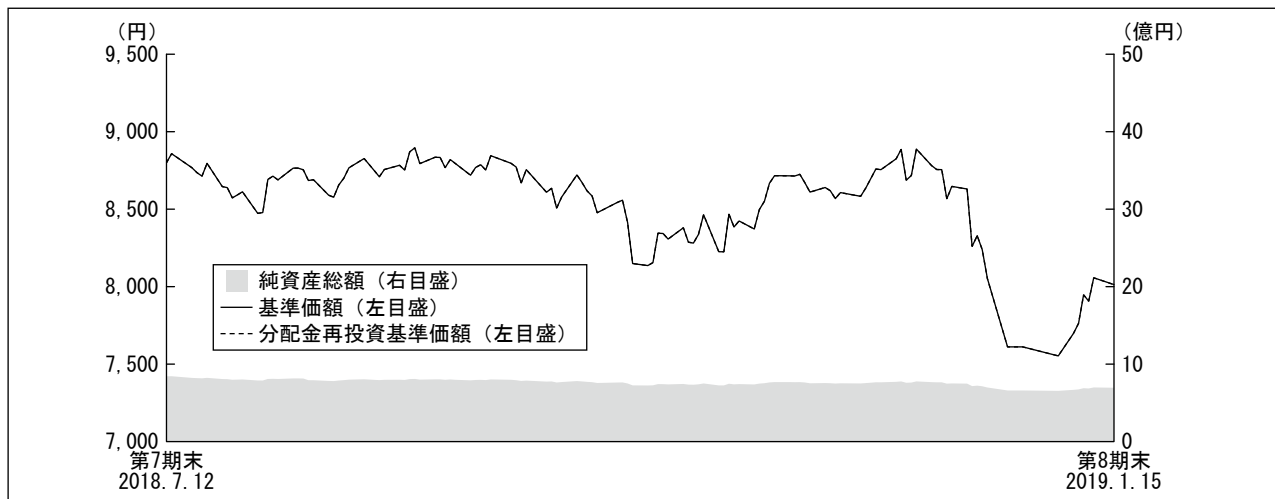
| 年月日 | 基準価額 | | MSCI US REITインデックス (配当込み、円換算) (参考指数) | | 公社債 組入比率 | 投資信託 証券 組入比率 |
|-----------------|-------|--------|--|-------|-------------|--------------------|
| | 騰落率 | 騰落率 | (参考指数) | 騰落率 | | |
| | 円 | % | | % | % | % |
| (期首) 2018年7月12日 | 8,800 | — | 10,739 | — | 0.0 | 97.5 |
| 7月末 | 8,478 | △ 3.7 | 10,413 | △ 3.0 | 0.0 | 97.5 |
| 8月末 | 8,794 | △ 0.1 | 10,885 | 1.4 | 0.0 | 97.6 |
| 9月末 | 8,579 | △ 2.5 | 10,707 | △ 0.3 | 0.0 | 97.7 |
| 10月末 | 8,468 | △ 3.8 | 10,660 | △ 0.7 | 0.0 | 97.7 |
| 11月末 | 8,755 | △ 0.5 | 10,936 | 1.8 | 0.0 | 97.8 |
| 12月末 | 7,611 | △ 13.5 | 9,860 | △ 8.2 | 0.0 | 91.6 |
| (期末) 2019年1月15日 | 8,013 | △ 8.9 | 10,066 | △ 6.3 | 0.0 | 97.0 |

*騰落率は期首比です。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第8期首：8,800円

第8期末：8,013円（既払分配金 0円）

騰落率：△8.9%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Qへの投資を通じて、米国の不動産投資信託（リート）等を実質的に投資を行いました。

（上昇要因）

ヘルスケアセクターがパフォーマンスに最も大きく貢献しました。また、ネットリースセクターもパフォーマンスに貢献しました。個別銘柄では、ヘルスケアのHCP, Inc. が好調でした。

（下落要因）

オフィスセクターがパフォーマンスを大きく毀損しました。また、データセンターもマイナスでした。個別銘柄では、データセンターのEquinix, Inc. が不調でした。

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

【投資環境】

当期、米国リート市場は下落しましたが、米国株式市場全般をアウトパフォームしました。

当期、市場は世界経済の成長鈍化と金融引き締め政策を巡る懸念から下落し、この動きは特に2018年第4四半期で顕著でした。中国が発表した経済指標は、同国の経済成長がここ数ヶ月で急減速していることを示しました。米国の「デューク大学/CF0（最高財務責任者）グローバル・ビジネス・アウトック」調査によると、2019年中に米国が景気後退に陥ると見ている米国企業のCF0は全体の半数近くを占めており、2020年中までに延ばすと、その比率は8割を超えています。

FOMC（米連邦公開市場委員会）は、期中、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を2度（2018年9月と12月に各0.25%ずつ）にわたり引き上げました。12月の利上げ発表後の記者会見で、FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長は、FRBのバランスシートの縮小を引き続き「自動操縦モード」で進めると述べ、市場を動揺させました。また、2018年第4四半期に、ECB（欧州中央銀行）は、2015年3月に開始された大規模な債券購入プログラムを正式に終了することを再度示しました。

国内短期金融市場では、期初-0.14%近辺でスタートした国庫短期証券3ヶ月物の利回りは、-0.1%～-0.2%の狭いレンジで推移しました。2018年9月末以降は、海外投資家からの短期の国債への需要の高まりを受けて-0.3%近辺まで低下する局面もあったものの、期末にかけてマイナス幅を縮小し-0.17%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

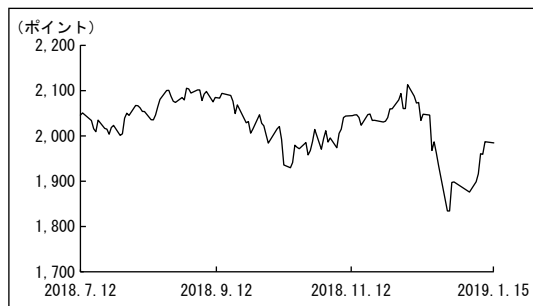
■米国リート厳選ファンド（資産成長型）

主要投資対象であるBrookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Qを期を通じて高位に組み入れ、期末の投資信託証券組入比率は97.0%としました。

■Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Q

住宅セクターでは、コスト上昇圧力を懸念して、一戸建て住宅への配分を引き続き減らす一方、集合住宅への配分を増やしました。リテールセクターは、一定期間好調が続いたことから、組入比率を引き下げました。産業セクターでは、組入比率を高める中で、質の向上を図りました。オフィスセクターでは、ニューヨーク市地域を中心に活動している業者の組み入れを減らし、西海岸（特にサンフランシスコ）に多くの物件を保有する業者を増やしました。

MSCI US REITインデックス（配当込み）の推移



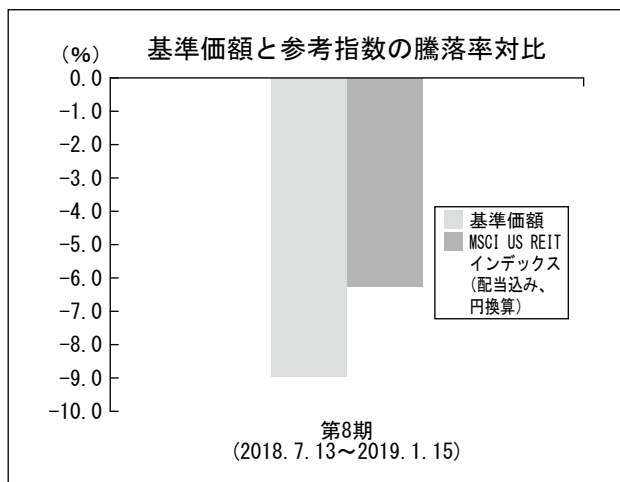
米国リート厳選ファンド（資産成長型）

■ マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■ 分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

| 項目 | 第8期 | |
|---------------|---------------------------|--|
| | 2018年7月13日 ~2019年1月15日 | |
| 当期分配金 (円) | 0 | |
| (対基準価額比率) (%) | 0.00 | |
| 当期の収益 (円) | — | |
| 当期の収益以外 (円) | — | |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 1,058 | |

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■米国リート厳選ファンド（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資証券への投資を通じて、主に米国の不動産投資信託（リート）等を実質的に投資することで、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Q

経済成長が今後は減速するとの見方が広がってはいるものの、米国経済については引き続き健全な状況が続いており、他の先進諸国をアウトパフォームすると予想しています。景気後退が迫っているとは考えていませんが、成長が減速するリスクは高まっていると見ています。このような投資環境を踏まえ、当ファンドではよりディフェンシブ（景気変動に影響を受けにくい）なポートフォリオ構成としています。2018年第4四半期にボラティリティ（価格変動性）が高まりましたが、米国リートは米国株式市場を大幅にアウトパフォームしました。このことは、広範な市場変動の中でも下振れリスクを軽減する一定の役割を果たし、魅力的な水準の利益を生み出す可能性を秘めているリート等不動産関連証券が、戦略的配分において重要であることを示すものと考えています。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

日本銀行は2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

1万口当りの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|--------|-----------------------|---------|---|
| | 2018年7月13日～2019年1月15日 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| 信託報酬 | 46円 | 0.539% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,448円です。 |
| (投信会社) | (16) | (0.194) | ファンドの運用等の対価 |
| (販売会社) | (28) | (0.332) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (1) | (0.014) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| その他費用 | 0 | 0.006 | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監査費用) | (0) | (0.005) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 46 | 0.545 | |

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2018年7月13日から2019年1月15日まで)

■投資証券

| | | 買付 | | 売付 | |
|----|---|----|--------|-----|---------|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| | | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 外国 | Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Q | 78 | 55,895 | 161 | 123,031 |

*金額は受渡し代金

利害関係人との取引状況等

(2018年7月13日から2019年1月15日まで)

<米国リート厳選ファンド（資産成長型）>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

<マネー・マネジメント・マザーファンド>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

組入資産の明細

2019年1月15日現在

■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 当 期 末 | | |
|---|-------|---------|------|
| | 口 数 | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千口 | 千円 | % |
| Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Q | 951 | 674,032 | 97.0 |
| 合 計 | 951 | 674,032 | 97.0 |

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

■親投資信託残高

| | 期首（前期末） | 当 期 末 | |
|--------------------|---------|-------|-------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| マネー・マネジメント・マザーファンド | 249 | 249 | 249 |

<補足情報>

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、マネー・マネジメント・マザーファンド全体（38,289千口）の内容です。

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

| 区 分 | 2019年1月15日現在 | | | | | | |
|------------------|--------------------|--------------------|----------------|-----------------|-------------------|------------|----------------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | 組入比率 | うちBB格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 特殊債券 (除く金融債券) | 28,000 (28,000) | 28,090 (28,090) | 73.4 (73.4) | — (—) | — (—) | — (—) | 73.4 (73.4) |
| 合 計 | 28,000 (28,000) | 28,090 (28,090) | 73.4 (73.4) | — (—) | — (—) | — (—) | 73.4 (73.4) |

*（ ）内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

| 銘柄 | 2019年1月15日現在 | | | |
|----------------|--------------|--------|--------|------------|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| | % | 千円 | 千円 | |
| (特殊債券（除く金融債券）) | | | | |
| 6 政保地方公営機 | 1.3000 | 2,000 | 2,004 | 2019/03/15 |
| 77 政保道路機構 | 1.3000 | 6,000 | 6,014 | 2019/03/19 |
| 80 政保道路機構 | 1.5000 | 6,000 | 6,035 | 2019/05/31 |
| 7 政保原賠・廃炉 | 0.0010 | 10,000 | 10,003 | 2019/06/21 |
| 85 政保道路機構 | 1.4000 | 4,000 | 4,032 | 2019/07/31 |
| 合計 | — | 28,000 | 28,090 | — |

投資信託財産の構成

2019年1月15日現在

| 項目 | 当期末 | |
|--------------------|---------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 投資証券 | 674,032 | 96.4 |
| マネー・マネジメント・マザーファンド | 249 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 24,956 | 3.6 |
| 投資信託財産総額 | 699,238 | 100.0 |

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年1月15日) 現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------|--------------|
| (A) 資 産 | 699,238,272円 |
| コール・ローン等 | 24,956,025 |
| 投資証券(評価額) | 674,032,671 |
| マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額) | 249,576 |
| (B) 負 債 | 4,389,061 |
| 未 払 解 約 金 | 234,758 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 4,114,065 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 40,238 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A-B) | 694,849,211 |
| 元 本 | 867,141,051 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | △172,291,840 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 867,141,051口 |
| 1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D) | 8,013円 |

*元本状況

| | |
|-----------|--------------|
| 期首元本額 | 957,263,104円 |
| 期中追加設定元本額 | 6,945,231円 |
| 期中一部解約元本額 | 97,067,284円 |

*元本の欠損

172,291,840円

損益の状況

自2018年7月13日
至2019年1月15日

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------------|------------------|
| (A) 配 当 等 取 益 | 14,484,951円 |
| 受 取 配 当 金 | 14,494,173 |
| 支 払 利 息 | 148 |
| 支 払 利 損 | △ 9,370 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 78,337,770 |
| 売 買 益 | 1,488,266 |
| 売 買 損 | △ 79,826,036 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 4,157,217 |
| (D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C) | △ 68,010,036 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △ 86,407,679 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 17,874,125 |
| (配 当 等 相 当 額) | (5,162,448) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 23,036,573) |
| 計 (D+E+F) | △ 172,291,840 |
| (G) 次 期 繰 越 損 益 金 (G) | △ 172,291,840 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 17,874,125 |
| (配 当 等 相 当 額) | (5,162,448) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 23,036,573) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 86,591,710 |
| 繰 越 損 益 金 | △ 241,009,425 |

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

| | |
|--|--------------|
| (A) 配 当 等 取 益 (費用控除後) | 10,328,816円 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後) | 0 |
| (C) 收 益 調 整 金 | 5,162,448 |
| (D) 分 配 準 備 積 立 金 | 76,262,894 |
| 分 配 可 能 額 (A+B+C+D) | 91,754,158 |
| (1 万 口 当 り 分 配 可 能 額) | (1,058.12) |
| 收 益 分 配 金 | 0 |
| (1 万 口 当 り 收 益 分 配 金) | (0) |

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

参考情報

■投資対象とする投資信託証券の概要

| | |
|---------------|--|
| ファンド名 | ブルックフィールド・USリステッド・リアル・エステート・UCITS・ファンド JPYインスティテューショナル・アンヘッジド・ディストリビューション・シェアズクラスQ Brookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Q |
| 基本的性格 | アイルランド籍／外国投資証券／円建て |
| 運用目的 | 主として米国の不動産投資信託証券（リート）等に投資することで、配当収益の確保と値上がり益によるトータルリターンを追求します。 |
| 主要投資対象 | 主として米国のリートおよび不動産等関連証券に投資します。 |
| 投資方針 | <p>1. 主として米国のリートおよび不動産等関連証券に投資します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不動産等関連証券とは、以下の企業が発行する株式ならびに優先株式等とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・売上（または利益）の50%以上を、商業用、産業用、住居用不動産の運営、開発、建設、ファイナンス、管理、売買等により得ている企業 ・資産の50%以上を上記のような不動産に投資している企業 ●ボトムアップによるファンダメンタル分析とバリュエーション分析により銘柄選定を行います。 ●独自のリサーチで投資対象企業の財務状況や競争優位性、経営陣の手腕および産業特性の評価などを行います。 ●純資産総額の20%を上限に、ハイイールド証券を含む債券にも投資する場合があります。 <p>2. 資金動向、市況動向によっては上記のような運用ができない場合があります。</p> |
| 主な投資制限 | <ul style="list-style-type: none"> ●単一の企業の発行する証券への投資割合は、原則として当ファンドの純資産総額の10%を超えないものとします。 ●当ファンドの純資産総額の10%を超えて借入は行わないものとします。 |
| 収益の分配 | 原則として毎月行います。 |
| 申込手数料 | ありません。 |
| 管理報酬 その他費用 | <p>運用報酬：年0.75%</p> <p>上記の他、保管会社、管理事務代行会社、名義書換事務代行会社への報酬、信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査にかかる費用、ファンドの設立にかかる費用、現地での登録料、法律顧問費用、名義書換事務代行費用、組入有価証券の保管に関する費用、借入金や立替金に関する利息、ファンドの運用報告書等の印刷及び配布等に関する費用等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>※上記の報酬等は将来変更される場合があります。</p> |
| 主な関係法人 | 投資運用会社：ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー |

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のBrookfield US Listed Real Estate UCITS Fund Japanese Yen Institutional Unhedged Distribution Shares Class Qの情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

貸借対照表

| | 2017年12月31日 現在 (USD) | 2016年12月31日 現在 (USD) |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 公正価値で測定する金融資産 | | |
| 譲渡可能有価証券への投資 | 39,212,110 | 65,172,090 |
| 銀行預金 | 323,052 | 1,723,207 |
| 有価証券売却未収入金 | 179,575 | 21,757 |
| 発行未収入金 | 1,305,984 | — |
| 未収利息及び未収配当金 | 158,071 | 340,174 |
| 投資顧問会社からの未収入金 | 4,073 | 17,358 |
| 前払費用 | — | 412 |
| その他未収入金 | 129 | — |
| 資産合計 | 41,182,994 | 67,274,998 |
| 負債の部 | | |
| 公正価値で測定する金融負債 | | |
| 有価証券購入未払金 | 78,154 | 939,700 |
| 未払償還金 | 327,026 | 185,543 |
| 未払投資顧問料 | 25,646 | 43,231 |
| 未払管理報酬 | 8,250 | 8,073 |
| 未払名義書換代理人報酬 | 6,473 | 3,894 |
| 未払役員報酬 | 1,450 | 1,820 |
| 未払カスタディ・受託報酬 | 3,931 | 5,003 |
| 未払監査及び税務報酬 | 11,914 | 10,891 |
| その他の未払費用及び負債 | 17,514 | 15,334 |
| 負債合計（償還可能受益証券保有者に帰属する金額を除く） | 480,358 | 1,213,489 |
| 償還可能受益証券保有者に帰属する純資産額 | 40,702,636 | 66,061,509 |
| 発行済受益権数 | | |
| 発行済 Class Q 受益権 | 3,239,516.30 | 5,050,528.15 |
| 発行済 Class Q 受益権1口あたり純資産額 | JPY 811.33 | JPY 867.76 |

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

包括利益計算書

| | 2017年12月31日に 終了した年度 (USD) | 2016年12月31日に 終了した年度 (USD) |
|---|---------------------------------|---------------------------------|
| 収 益 | | |
| 受取配当金 | 2,267,693 | 3,648,740 |
| 銀行利息 | 3,228 | 1,620 |
| 公正価値で測定する金融資産及び金融負債の実現及び 未実現純（損失）/利益 | (786,149) | 3,622,355 |
| その他収益 | 340 | 70 |
| (損失) / 収益合計 | 1,485,112 | 7,272,785 |
| 費 用 | | |
| 投資顧問報酬 | 425,009 | 648,204 |
| 管理報酬 | 47,176 | 50,044 |
| 役員報酬 | 4,945 | 7,018 |
| カストディ・受託報酬 | 17,643 | 34,566 |
| 監査及び税務報酬 | 12,423 | 10,856 |
| 名義書換代理人報酬 | 41,011 | 33,333 |
| 取引費用 | 83,852 | 223,136 |
| その他費用 | 53,173 | 56,045 |
| 費用合計 | 685,232 | 1,063,202 |
| 投資顧問会社補助金 | (73,698) | (25,000) |
| 純費用 | 611,534 | 1,038,202 |
| 税引前（損失）/利益 | 873,578 | 6,234,583 |
| 税金 | | |
| 源泉徴収税 | 662,979 | 703,319 |
| 営業活動による受益証券保有者に帰属する純資産の （減少）増加額（税引後） | 210,599 | 5,531,264 |
| 償還可能受益証券保有者への分配金 | 1,242,872 | 1,866,662 |
| 営業活動による受益証券保有者に帰属する純資産の （減少）増加額 | (1,032,273) | 3,664,602 |

通貨

USD：米ドル

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

有価証券明細表（2017年12月31日現在）

| | 株数 | 評価額 USD | 純資産 比率（%） |
|---------------------------------------|--------|------------------|--------------|
| 有価証券 | | | |
| 公認の取引所に上場している取引可能な有価証券 | | | |
| 上場株式：普通株式 | | | |
| アメリカ | | | |
| Communications | | | |
| American Tower Corp | 5,600 | 798,952 | 2.0 |
| Crown Castle International Corp | 16,200 | 1,798,362 | 4.4 |
| Total Communications | | 2,597,314 | 6.4 |
| Datacenters | | | |
| Equinix Inc | 4,100 | 1,858,202 | 4.6 |
| QTS Realty Trust Inc | 35,700 | 1,933,512 | 4.8 |
| Total Datacenters | | 3,791,714 | 9.4 |
| Healthcare Real Estate | | | |
| HCP Inc | 67,500 | 1,760,400 | 4.3 |
| Physicians Realty Trust | 37,400 | 672,826 | 1.6 |
| Ventas Inc | 29,600 | 1,776,296 | 4.4 |
| Total Healthcare Real Estate | | 4,209,522 | 10.3 |
| Hotel | | | |
| LaSalle Hotel Properties | 27,700 | 777,539 | 1.9 |
| Park Hotels & Resorts Inc | 53,367 | 1,534,301 | 3.8 |
| Total Hotel | | 2,311,840 | 5.7 |
| Industrial | | | |
| Duke Realty Corp | 43,600 | 1,186,356 | 2.9 |
| Prologis Inc | 27,600 | 1,780,476 | 4.4 |
| STAG Industrial Inc | 28,700 | 784,371 | 1.9 |
| Total Industrial | | 3,751,203 | 9.2 |
| Net Lease | | | |
| Gramercy Property Trust | 50,000 | 1,333,000 | 3.3 |
| MGM Growth Properties LLC | 40,600 | 1,183,490 | 2.9 |
| Total Net Lease | | 2,516,490 | 6.2 |
| Office | | | |
| Hudson Pacific Properties Inc | 35,100 | 1,202,175 | 3.0 |
| Kilroy Realty Corp | 13,300 | 992,845 | 2.4 |
| SL Green Realty Corp | 21,400 | 2,159,902 | 5.3 |
| Total Office | | 4,354,922 | 10.7 |
| Residential | | | |
| American Campus Communities Inc | 19,300 | 791,879 | 1.9 |
| American Homes 4 Rent | 89,800 | 1,961,232 | 4.8 |
| Essex Property Trust Inc | 5,700 | 1,375,809 | 3.4 |
| Mid-America Apartment Communities Inc | 13,600 | 1,367,616 | 3.4 |
| Total Residential | | 5,496,536 | 13.5 |

米国リート厳選ファンド（資産成長型）

| | 株数 | 評価額 USD | 純資産 比率 (%) |
|-----------------------------------|--------|-------------------|---------------|
| Retail | | | |
| Brixmor Property Group Inc | 57,700 | 1,076,682 | 2.6 |
| DDR Corp | 88,000 | 788,480 | 1.9 |
| Federal Realty Investment Trust | 10,400 | 1,381,224 | 3.4 |
| Simon Property Group Inc | 21,850 | 3,752,519 | 9.2 |
| Tanger Factory Outlet Centers Inc | 31,100 | 824,461 | 2.0 |
| Taubman Centers Inc | 12,100 | 791,703 | 1.9 |
| Total Retail | | 8,615,069 | 21.0 |
| Self Storage | | | |
| Public Storage | 7,500 | 1,567,500 | 3.9 |
| Total Self Storage | | 1,567,500 | 3.9 |
| アメリカ 計 | | 39,212,110 | 96.3 |
| 上場株式 計：普通株式 (取得原価 USD 39,967,633) | | 39,212,110 | 96.3 |
| 公認の取引所に上場している取引可能な有価証券 計 | | 39,212,110 | 96.3 |
| 有価証券 計 (取得原価 USD 39,967,633) | | 39,212,110 | 96.3 |
| その他資産 (負債控除後) | | 1,490,526 | 3.7 |
| 純資産 計 | | 40,702,636 | 100.0 |

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2018年7月25日

(第5期：2017年7月26日～2018年7月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 親投資信託 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 運用方針 | 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。 |
| 主要運用対象 | 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | <ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資は行いません。・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。 |

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<https://www.daiwasbi.co.jp/>

設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | 騰落率 | | 公社債比率 | 純資産総額 |
|--------------------|-------------|-----|--------|--------|------------|
| | | 期騰 | 落中率 | | |
| (設定日) 2013年6月3日 | 円 10,000 | | % - | % - | 百万円 102 |
| 第1期(2014年7月25日) | 10,008 | | 0.1 | 76.1 | 26 |
| 第2期(2015年7月27日) | 10,010 | | 0.0 | 74.4 | 53 |
| 第3期(2016年7月25日) | 10,011 | | 0.0 | 69.6 | 59 |
| 第4期(2017年7月25日) | 10,000 | | △0.1 | 79.3 | 49 |
| 第5期(2018年7月25日) | 9,995 | | △0.1 | 83.5 | 49 |

*当ファンドは、安定した収益の確保を目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

| 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | | 公社債比率 |
|-----------------|-------------|-----|--------|-----------|
| | | 騰 | 落率 | |
| (期首) 2017年7月25日 | 円 10,000 | | % - | % 79.3 |
| 7月末 | 10,000 | | 0.0 | 59.0 |
| 8月末 | 9,999 | | △0.0 | 79.5 |
| 9月末 | 9,999 | | △0.0 | 59.1 |
| 10月末 | 10,000 | | 0.0 | 58.5 |
| 11月末 | 9,999 | | △0.0 | 66.4 |
| 12月末 | 9,999 | | △0.0 | 66.1 |
| 2018年1月末 | 9,998 | | △0.0 | 54.2 |
| 2月末 | 9,996 | | △0.0 | 78.9 |
| 3月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.2 |
| 4月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.3 |
| 5月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.3 |
| 6月末 | 9,996 | | △0.0 | 71.4 |
| (期末) 2018年7月25日 | 9,995 | | △0.1 | 83.5 |

*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：10,000円

期末：9,995円

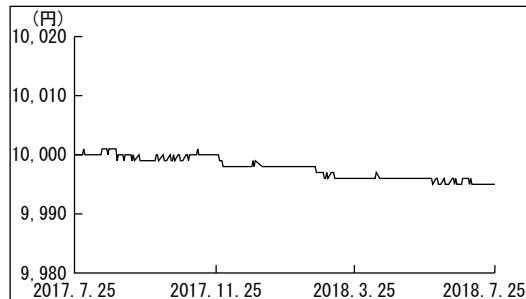
騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレート
のマイナス化が下落要因となりました。

基準価額の推移



【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.13%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、米国の債務上限問題や海外投資家による短期の国債への需要の高まり等を背景に2017年11月下旬にかけて-0.25%近辺まで低下しました。その後はマイナス幅を縮小し期末にかけて狭いレンジの動きに終始し、-0.15%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

日本銀行の「長短金利操作付き量的・質的緩和」への政策枠組み変更後も、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|---------------------|-----------------------|-------------------|---|
| | 2017年7月26日～2018年7月25日 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| その他費用 (その他) | 0円 (0) | 0.002% (0.002) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 0 | 0.002 | |
| 期中の平均基準価額は9,998円です。 | | | |

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■公社債

| | | 買付額 | 売付額 |
|---|---|-------|--------------------|
| 国 | 内 | 千円 | 千円 |
| | | 地方債証券 | 4,001 (4,000) |
| | | 特殊債券 | 51,488 (49,000) |

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■公社債

| | | 当期 | |
|------------|--------|----|----|
| 買付 | | 売付 | |
| 銘柄 | 金額 | 銘柄 | 金額 |
| | 千円 | | 千円 |
| 66 政保道路機構 | 14,134 | — | — |
| 67 政保道路機構 | 11,126 | | |
| 886 政保公営企業 | 10,151 | | |
| 62 政保道路機構 | 10,018 | | |
| 77 政保道路機構 | 6,056 | | |
| 92 大阪府5年 | 4,001 | | |

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2017年7月26日から2018年7月25日まで)

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2018年7月25日現在

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

| 区 分 | 当 期 | | | | 末 | | |
|---------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------|-------------------|---------------|---------------------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| 特 殊 債 券 (除く金融債券) | 千円 41,000 (41,000) | 千円 41,141 (41,141) | % 83.5 (83.5) | % — (—) | % — (—) | % — (—) | % 83.5 (83.5) |
| 合 計 | 41,000 (41,000) | 41,141 (41,141) | 83.5 (83.5) | — (—) | — (—) | — (—) | 83.5 (83.5) |

* () 内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

| 銘 柄 | 当 期 | | | 末 |
|----------------|--------|---------|--------|------------|
| | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
| (特殊債券(除く金融債券)) | % | 千円 | 千円 | |
| 62 政保道路機構 | 1.7000 | 10,000 | 10,003 | 2018/07/31 |
| 66 政保道路機構 | 1.5000 | 14,000 | 14,037 | 2018/09/28 |
| 67 政保道路機構 | 1.6000 | 11,000 | 11,048 | 2018/10/31 |
| 77 政保道路機構 | 1.3000 | 6,000 | 6,051 | 2019/03/19 |
| 合 計 | — | 41,000 | 41,141 | — |

投資信託財産の構成

2018年7月25日現在

| 項 目 | 当 期 | | 末 |
|-------------------------|--------------|-----------|---|
| | 評 価 額 | 比 率 | |
| 公 社 債 | 千円 41,141 | % 83.5 | |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 8,105 | 16.5 | |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 49,246 | 100.0 | |

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年7月25日) 現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------|-------------|
| (A) 資 産 | 49,246,681円 |
| コール・ローン等 | 8,012,546 |
| 公社債(評価額) | 41,141,180 |
| 未収利息 | 21,695 |
| 前払費用 | 71,260 |
| (B) 負 債 | 5,010 |
| 未払解約金 | 5,000 |
| その他未払費用 | 10 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A-B) | 49,241,671 |
| 元 本 | 49,264,828 |
| 次期繰越損益金 | △ 23,157 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 49,264,828口 |
| 1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D) | 9,995円 |

*元本状況

| | |
|-----------|-------------|
| 期首元本額 | 49,397,657円 |
| 期中追加設定元本額 | 1,267,196円 |
| 期中一部解約元本額 | 1,400,025円 |

*元本の内訳

| | |
|---|-------------|
| 北米シェール関連株ファンド | 7,581,704円 |
| タフ・アメリカ(マネープールファンド) | 7,852,018円 |
| 米国小型株ツインα(毎月分配型) | 552,681円 |
| 米国小型株ツインα(資産成長型) | 71,698円 |
| 日本株アルファ・カルテット(毎月分配型) | 1,998,801円 |
| 欧州株ツインα(毎月分配型) | 13,111円 |
| 欧州株ツインα(資産成長型) | 96円 |
| NBマルチ・ストラテジー・ファンド(ダイワSMA専用) | 2,699,766円 |
| NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド(部分為替ヘッジあり) - 予想分配金提示型 - | 20,915円 |
| NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド(為替ヘッジなし) - 予想分配金提示型 - | 9,993円 |
| 米国リバーサル戦略ツインαネオ(毎月分配型) | 26,385,980円 |
| 米国リート厳選ファンド(毎月決算型) | 249,776円 |
| 米国リート厳選ファンド(資産成長型) | 249,776円 |
| 米国株アルファ・カルテット(毎月分配型) | 799,281円 |
| 米国株厳選ファンド・米ドルコース | 9,992円 |
| 米国株厳選ファンド・ブラジルリアルコース | 9,992円 |
| 米国株厳選ファンド・豪ドルコース | 9,992円 |
| 米国株厳選ファンド・高金利通貨コース | 9,992円 |
| 米国リート・アルファ・カルテット(毎月分配型) | 699,301円 |
| NBマルチ戦略ファンド | 9,989円 |
| 日本株アルファ・カルテット(年2回決算型) | 9,990円 |
| 大和住銀/コンビアメリカ株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用) | 9,992円 |
| 大和住銀/コンビアメリカ株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用) | 9,992円 |
| *元本の欠損 | 23,157円 |

損益の状況

自2017年7月26日
至2018年7月25日

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|-----------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 520,980円 |
| 受 取 利 息 | 533,098 |
| 支 払 利 息 | △ 12,118 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 543,640 |
| 売 買 損 益 | △ 543,640 |
| (C) そ の 他 費 用 | △ 1,002 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A+B+C) | △ 23,662 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 242 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | 407 |
| (G) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 144 |
| (H) 計 (D+E+F+G) | △ 23,157 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (H) | △ 23,157 |

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments